

留学体験談



くぼ まさと
久保 将人さん ロシア学科 4年生 (2019年入学)

留学先機関名：カザフスタン／アルマトイ アル＝ファラビ カザフ国立大学

留学期間：2022年10月～2023年7月

留学の目的・留学を通して得られたことは？

大学で学んだロシア語能力を向上させる目的と、現地で自分のロシア語がどれくらい使えるのか腕試しをする意味で留学を決意しました。留学先では学生論文発表コンテストで準備学部の学生の中で1位に選ばれ、カザフ語初級コンテストでは3位に選ばれ表彰されました。

自分が学んできた言葉を通して現地で様々な国籍、民族の人々と会話でき、彼らの生活、文化、考え方に触れることができる貴重な機会だったと思います。



カザフ国立大学の論文発表で準備学部の部門で1位になり、他の学部の方と共に表彰されました。



カザフスタン科学アカデミー カザフスタンの最高学術機関です。1957年に建設されました。日本人の戦争捕虜が建設に従事した歴史があります。

留学先を選んだ理由は？

理由は二点あります。一点目は、多民族国家でカザフ語とロシア語双方に法的な地位が与えられているカザフスタンという国元に興味があったことです。二点目に、ロシア語はロシア連邦以外の旧ソ連地域でも使われているという意識のもと勉強してきました。故にロシア連邦ではなくカザフスタンという国を選びました。

留学先の大学のよいところ



ウズベク料理のプロフとキエフ風カツレツ(チキンカツの中にバターが入っている)旧ソ連地域の様々なご飯を食べることができるのもカザフスタンのいいところです。

カザフスタンで最も歴史がある大学だけに学内のイベントが多彩でした。実際にナウルーズ(中央アジアの春分の日)や学生論文コンテスト、旧ソ連地域の他大学の交流など様々なイベントなどに参加しました。

留学して変わったことは？

留学前は遠慮しがちで積極性が少なかったのですが、自分の考えをしっかりと表現することが求められる場所で生活したことで、積極性や自己表現力が養われました。

夢・目標は？

具体的には考えきれていないのですが、いつかもう一度中央アジアに戻り、何かしらできればと考えています。日本国内では中央アジアレストランを日本で経営して中央アジアの知名度を高めたいです。



カザフスタンの街タラズにあるカラハン廟
チュルク系イスラーム王朝、カラハン朝の創始者の霊廟です。他にもタラズにはアイシャビ廟など見どころがあります。



カラコルの正教会
キルギスと中国の国境に近い街カラコルには1895年に建設された聖トロイツキー教会があります。ロシア帝国がいかに広大であったのかがわかる建物です。

留学生活の環境は？



私は寮生活をしていたのですが、ウズベキスタン国籍のカザフ人医学生と同じ部屋で1年間過ごしました。生活を共にするうちに仲良くなっていき、一緒に勉強したり、料理をしたりするようになりました。また、カザフ人の誕生日会にも招待してもらい同年代の文化を体験することもできました。この医学生と同室になったことで楽しい一年間を過ごせたと思っています。

ルームメイトのカザフ人医学生
留学中は大変お世話になりました。今でも連絡を取っています。

一番の思い出は？

長期休暇中の鉄道旅です。カザフスタン国内を寝台車に乗って旅行した際には現地の方々と会話したり、お茶を振る舞って頂いたり、人の温かさに触れることができました。また、カザフスタンからキルギスへの寝台車に乗った際にはキルギス出身でロシアの大学で学んでいる学生やカザフスタン在住でキルギスを経由してウラジオストクに仕事に行く人に出会い、旧ソ連地域は互いに今も結びつきが強いということを実感することができました。



鉄道キルギスへ ロシアのノヴォシビルスクからカザフスタンのアルマトイを経て、キルギスのビシュケクへ向かう国際列車が運行されています。